

第三三回 武蔵野文学賞「高校生部門」

土岐善麿短歌賞 一首単独の部

【最優秀賞】

牛乳に浸した食パンみたいだな白いブラウス三年目の冬

中村 巴月

【優秀賞】

見上げても教室みたい吊り革が息を揃えて相槌を打つ

佐野 晃太

百年後も思い出したい「サイゼリヤ 由来」を友とググった今日を

土屋 沙音

そのへんにただよっているファの音に二人乗りして地獄へ行こう

峯田 陽仁

【佳作】

曇り空今ならなにか始められるそんな気がして絵の具を出した

植草 結良

弟がわたしの背をぬきホクホクと笑ってかき込むタケノコご飯

河野 紗姫

中秋の名月すすきはないけれど好きです君には言えないけれど

中村 巴月

マーカー跡ミミズ母の名古ぼけた英和辞典から父を読み取る

柳原 萌々子

公園のベンチ下には酒瓶あり集団下校の歓声を聞く

矢野 麟太郎